

2020年 第2回国際ケアリング学会学術セミナー — ポスト新型コロナ時代におけるケアリングを考える — 「極上の別れの条件」

講師 森田亜紀 先生 臨床心理学博士
元ハワイホスピス ブリーブメントコーディネーター
日時 12月19日(土) 午前10:00~12:00
オンライン開催 (Zoom)

講演内容

現在の医療においては、人間が1日でも、1時間でも長く息をしているための延命治療が尊ばれており、社会も、多くの医療従事者も、一般市民もがその信者である。そこでは病気は戦う相手であり、死は科学の敗北を意味する。森田は米国ハワイ州のホスピスで、別れの作業に関わった。その過程で患者は苦悩の中に意味を見出し、死を受け入れ、魂の成長と共に安らかに旅立った。ホスピスケアにおいて死は肉体との関係の終焉に過ぎず、魂との絆や永遠の愛情は、患者や家族だけでなく、関わった医療従事者にも、ジーン・ワトソン博士がいう、生と死の神秘・キセキをもたらした。森田はそれを「極上の別れ」と呼ぶ。このキセキは死後、遺族の悲しみを癒す鍵ともなる。講演では、事例を交えて極上の別れを迎えるための条件に触れる。看護師がそれぞれの現場でどう別れの作業に向き合い、支えることができるのかを考える機会となるであろう。(森田亜紀)



ご略歴: 兵庫県出身。ニューヨーク州コロンビア大学・ティーチャーズカレッジカウンセリング学科修士、ロングアイランド大学臨床心理学科博士課程終了。同州ベルビュー病院で2年のエクスターンシップ、ロングアイランド・ジュイッシュ・メディカルセンターにてインターンシップ修了。ノースキャロライナ州、カリフォルニア州で全寮制教育施設で行動療法コーチ、クリニカルディレクターを2年務めた後、ホスピスハワイにてブリーブメントコーディネーターとして7年終末医療に関わる。2019年帰国。現在横浜を拠点に国内外で講演・教育・執筆活動を精力的にこなす。来年初めての著書「極上の別れの条件(仮題)」出版予定。

参加費 会員 1000円 非会員 3000円
定員 200名
申し込み 下記またはQRコードからアクセスしてください ➡



https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=8212019252932150&EventCode=P772160923

* URLをコピーして検索しないでください

お問い合わせ TEL 045-787-2747 (平日 10:00~16:00)
e-mail iscp131@gmail.com

国際ケアリング学会学術セミナー担当: 佐藤朝美(横浜市立大学)

国際ケアリング学会への入会をご希望の方は、**学会HP**(<http://www.caring-peace.net/index.html>)